

# 富山県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

富山県は、三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmというまとまりの良い地形が特徴。天然の巨大なダムともいえる山々から生まれる豊かできれいな水など、地域資源が豊富である。四季の変化がはっきりしており、冬期には北西の強い季節風が吹き、北アルプスの影響を受け、降雪量が大変多くなっている。年平均気温は14.5度前後、年間降水量は2,400mm前後で、比較的温暖な気候である。

豊富な水による水力発電、工業用水などに支えられ、医薬品などの化学、アルミなどの金属、機械、電子部品を中心に、日本海側屈指の工業集積を誇る。新幹線開業を契機にビジネス展開が活発化しており、県内新設法人が増加したり、本社機能の一部移転や研究施設の移転・集約の動きが見られる。

農業生産は稲作を中心に、転作作物として六条大麦、大豆などの生産も盛んである。

また、兼業率が高く農業従事者の高齢化が進行するなか、認定農業者や集落営農等の担い手確保、法人化や農地集積による経営基盤の強化を進めている。

農業の体質強化や高付加価値化を推進するため、「1億円産地づくり」による、たまねぎやねぎ等の園芸作物の生産を進めるほか、新たなブランド米として新品種「富富富（ふふふ）」を2018年に本格デビューさせた。また、富山の食の魅力発信による農産物・さかなのブランド力の向上や農林水産物の輸出などの国内外の市場開拓、県素材の活用促進、つくり育てる漁業の推進などに取り組み、魅力ある農林水産業となるよう展開している。GIについては、平成29年「入善ジャンボ西瓜」、令和2年「富山干柿」、令和4年「氷見稻積梅」が登録。

富山県内では、水田裏作としてチューリップ球根の生産が発展し、国内有数の産地となっている。

また、JAいなばやJA氷見を始めとして、ハトムギの国内有数の産地で、ペットボトルの「はとむぎ茶」の製造や、美肌効果等に着目した高付加価値なハトムギ商品を開発するなど、6次産業化や医福食農連携に取り組んでいる。

## 主な農林水産物

### 米・種子

「コシヒカリ」や「てんたかく」、「てんこもり」、「富富富」を中心に広く生産されており、水田率(R3)や農業産出額に占める米の割合(R2)は全国一である。また、全国一の種もみ出荷県である。



### 大豆

「エンレイ」はたんぱく質やミネラル成分がバランスよく含まれており、豆腐用などとして全国的に高く評価。(収穫量全国11位(R2))



### 六条大麦

全国でも有数の産地。品種は「ファイバースノウ」が主体。(収穫量全国2位(R3))



### たまねぎ

1億円産地づくり事業により生産拡大。水田転換畑を活用し、大規模な機械化体系を展開している。



### ねぎ

県内で広く生産される野菜品目。農協系統では、「富山しろねぎ」という商品名で県内外の市場に向けて共同出荷。



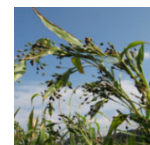
### 花き(チューリップ)

富山県の県花であるチューリップは、新品種の育成が盛んで、富山県ではこれまでに「黄小町、夢の紫、春天使」など37品種を育成。



### ハトムギ

「はとむぎ茶」や美肌効果の効能を活用した商品開発にも取り組んでいる。(生産量全国1位(R2))



### すいか

GI産品である「入善ジャンボ西瓜」は、ラグビーボールのような形が特徴で、平均17~19kg程度の大玉西瓜である。



### 日本なし

「呉羽梨(くれはなし)」が有名。品種の多くは「幸水」で、シャリツとした歯ごたえに加え、果汁が豊富で甘味が強く、酸味が少ないため人気が高い。



### 水産物

富山湾は、ブリ、シロエビ、ホタルイカ、紅ズワイガニなど海の幸の宝庫。かまぼこ、ます寿しなどの水産加工食品も有名。



ブリ

# 富山県内の各地域における農林水産物

## 県全域

### 【農畜産物】

水稲：代表品種

①コシヒカリ②てんたかく③てんこもり④富富富（ふふふ）

大豆、六条大麦、白ねぎ（ねぎ）、かぶ

畜産：とやま牛（肉用牛）、とやまポーク（豚）

### 【林産物】

すぎ、ぶなしめじ、生しいたけ、えのきたけ、はなびらたけ、木炭、薪

### 【水産物】

マイワシ、アジ、スルメイカ、ホタルイカ、サバ、ブリ類、カタクチイワシ、カワハギ類、カマス、ベニズワイガニ、サワラ、シロエビ、ソウダカツオ、サケ、アユ

## 西部地域

### 【農畜産物】

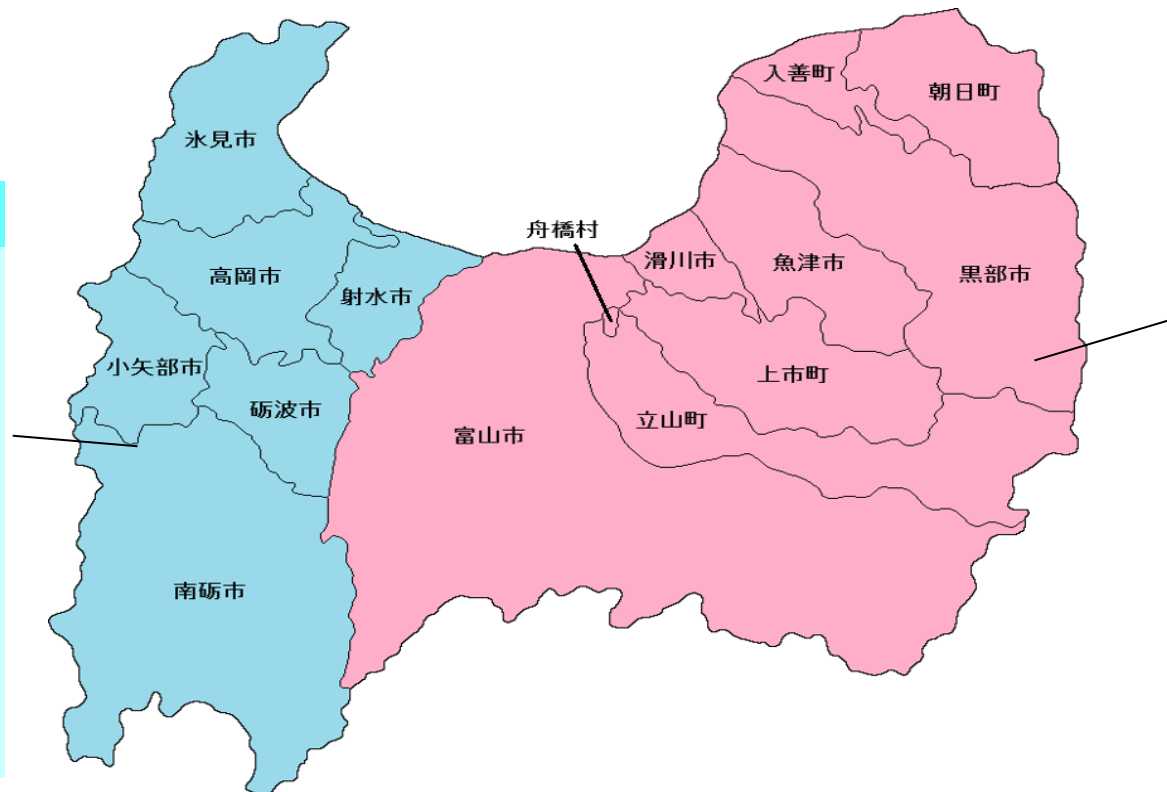
ハトムギ、稲積（いなづみ）梅（梅）、白ねぎ（ねぎ）、さといも、かき、干し柿、にんにく、えだまめ、チューリップ、たまねぎ、なたね、にら、ぎんなん、氷見牛（肉用牛）、鶏卵

### 【林産物】

木質粒状燃料

### 【水産物】

ブリ、ベニズワイガニ、シロエビ、サクラマス（養殖）、コイ（養殖）



## 東部地域

### 【農畜産物】

富山トマト（トマト）、呉羽梨（日本なし）、加積（かづみ）りんご（りんご）、もも、電照ぎく、つるぎさといも（さといも）、ばれいしょ、にら、だいこん、すいか、そば、黒部名水ポーク

### 【水産物】

シロエビ、ホタルイカ、ベニズワイガニ、ゲンゲ、バイ貝、サンマ

# 富 山 県 の 農 業 ( 1 )

- ・耕地面積は5万8,000haで全国第23位。内訳は田が5万5,300haで耕地の95%。
- ・担い手への集積面積は3万8,718haで全国第15位。集積率は66.5%で6位。
- ・農業経営体数は1万2,356経営体で全国第40位。集落営農数は710集落営農で5位。
- ・基幹的農業従事者数は1万1,258人で全国第41位。うち65歳以上は84.2%で全国平均より14.6ポイント高い。

## 耕地面積

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
耕地面積	58,000 ha	4,349,000 ha	23
田	55,300 ha	2,366,000 ha	15
畑	2,690 ha	1,983,000 ha	47
普通畑	1,760 ha	1,126,000 ha	47
樹園地	709 ha	263,200 ha	47
牧草地	222 ha	593,400 ha	32
参考) 総土地面積	424,754 ha	37,797,463 ha	33

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
農業経営体数	12,356 経営体	1,075,705 経営体	40
法人経営体	760 経営体	30,707 経営体	10
総農家数	17,314 戸	1,747,079 戸	43
販売農家	11,323 戸	1,027,892 戸	40
参考) 世帯総数	403,989 世帯	55,830,154 世帯	37
集落営農数	710 集落営農	14,490 集落営農	5

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 荒廃農地面積

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	352 ha	281,831 ha	46

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	11,258 人	1,363,038 人	41
男	7,459 人	822,144 人	41
女	3,799 人	540,894 人	40
65歳以上	9,480 人	948,621 人	40
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	84.2 %	69.6 %	-
認定農業者数	1,619 経営体	233,806 経営体	38
法人数	699 法人	26,080 法人	12
参考) 総人口数	1,034,814 人	126,146,099 人	37

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 担い手への農地の集積状況

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	38,718 ha	2,535,115 ha	15
集積率	66.5 %	58.0 %	6

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

# 富 山 県 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は629億円で全国第39位。内訳は米が434億円で農業産出額の69%。
- ・ 農畜産物の生産状況は、六条大麦及び球根類が全国第2位、干し柿が6位、大豆が11位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が74億6,700万円で全国第47位。事業体数は200事業体。

## 農業産出額

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
農業産出額	629 億円	89,557 億円	39
米	434 億円	16,551 億円	12
麦類	2 億円	521 億円	18 *
雑穀	3 億円	77 億円	10
豆類	12 億円	712 億円	10
いも類	5 億円	2,391 億円	42
野菜	54 億円	22,520 億円	47
果実	23 億円	8,741 億円	44
花き	11 億円	3,080 億円	44
工芸農作物	0 億円	1,553 億円	46
その他作物	2 億円	697 億円	31 *
畜産	78 億円	32,279 億円	42
肉用牛	11 億円	6,863 億円	42
乳用牛	14 億円	9,310 億円	43
生乳	13 億円	7,798 億円	43
豚	20 億円	6,596 億円	37
鶏	32 億円	8,724 億円	39
鶏卵	32 億円	4,577 億円	33
ブロイラー	- 億円	3,621 億円	- *
その他畜産物	0 億円	787 億円	43
加工農産物	5 億円	436 億円	13

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	富 山 県	全 国	全国順位	
六条大麦	収穫量	R3	10,200 t	55,000 t	2 *
球根類	出荷量	R2	13,800 千球	73,700 千球	2
干し柿	生産量	元	230 t	7,473 t	6
大豆	収穫量	R2	5,470 t	218,900 t	11 *
たまねぎ	収穫量	R2	7,850 t	1,357,000 t	12
水稻	収穫量	R3	200,000 t	7,563,000 t	12
りんご	収穫量	R2	1,150 t	763,300 t	14 *
日本なし	収穫量	R2	2,980 t	170,500 t	17
なたね	収穫量	R3	5 t	3,260 t	18 *
かぶ	収穫量	R2	1,260 t	104,800 t	19
ギンナン	収穫量	元	4 t	1,102 t	22

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「花き生産出荷統計」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	2,188 百万円	946,841 百万円	46
	事業体数	480 事業体	32,400 事業体	32
農産物直売所	総額	7,467 百万円	1,053,366 百万円	47
	事業体数	200 事業体	23,650 事業体	40
農家レストラン	総額	750 百万円	35,696 百万円	18 *
	事業体数	30 事業体	1,360 事業体	13 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 富 山 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は38.9億円で全国第29位。
- ・ 林産物の生産状況は、生しいたけが全国第16位、薪が18位。
- ・ 製材工場数は62工場で全国第35位。

## 林野面積

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
林野面積	240,531 ha	24,770,201 ha	35
国有林	60,761 ha	7,153,338 ha	18
民有林	179,770 ha	17,616,863 ha	38
人工林面積	54,513 ha	10,203,842 ha	42

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
林業経営体数	181 経営体	34,001 経営体	39
法人経営体	29 経営体	4,093 経営体	39

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
林業産出額	38.9 億円	4,286.4 億円	29
木材生産	7.1 億円	1,943.7 億円	39
栽培きのこ類生産	31.4 億円	2,259.6 億円	19

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
素材生産量	79 千m <sup>3</sup>	19,882 千m <sup>3</sup>	39
針葉樹	74 千m <sup>3</sup>	18,037 千m <sup>3</sup>	39
すぎ	71 千m <sup>3</sup>	11,663 千m <sup>3</sup>	34
広葉樹	5 千m <sup>3</sup>	1,845 千m <sup>3</sup>	32
生しいたけ	生産量 1,577.6 t	70,279.6 t	16
薪	生産量 1,000.8 層積m <sup>3</sup>	83,536.1 層積m <sup>3</sup>	18
木質粒状燃料	生産量 1,253.4 t	148,725.8 t	19 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
工場数	62 工場	4,115 工場	35
製材用素材の入荷があった工場数	53 工場	4,067 工場	37
国産材のみ	31 工場	3,237 工場	39
国産材と輸入材	9 工場	653 工場	31

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 富 山 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は113億円で全国第31位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業でさんまが全国第4位、内水面漁業でさけ類が6位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が1億9,000万円で全国第35位。

## 漁船隻数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
漁船隻数	486 隻	132,201 隻	36
動力漁船	319 隻	69,920 隻	37

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

## 漁業経営体数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	250 経営体	79,067 経営体	39
内水面漁業経営体数	23 経営体	4,772 経営体	39

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,216 人	151,701 人	31
男	1,192 人	134,186 人	30
女	24 人	17,515 人	37

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業産出額

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	113 億円	13,484 億円	31

出典：「令和元年漁業産出額」

## 水産物の生産状況

区 分	富 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	26,134 t	4,182,983 t	28 *
海面漁業漁獲量	26,115 t	3,213,334 t	24
さんま	3,083 t	29,675 t	4 *
そうだがつお類	323 t	7,964 t	6 *
海面養殖業収穫量	19 t	969,649 t	36 *
内水面漁業・養殖業生産量	166 t	50,832 t	30 *
内水面漁業漁獲量	120 t	21,745 t	16 *
さけ類	61 t	6,609 t	6 *
あゆ	57 t	2,084 t	8 *
内水面養殖業収穫量	46 t	29,087 t	31 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事業の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	富 山 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	190 百万円	175,132 百万円	35
	事業体数	10 事業体	1,500 事業体	28
水産物直売所	総額	111 百万円	36,489 百万円	29 *
	事業体数	0 事業体	800 事業体	32 *
漁家レストラン	総額	31 百万円	11,822 百万円	30 *
	事業体数	0 事業体	420 事業体	31 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 富山県の農林水産業の話題等

## 消費者に求められる競争力ある農産物の生産

需要に応じた米生産と水田フル活用による大麦、大豆等の生産推進、園芸作物の大規模な産地形成や施設園芸・新技術導入による収益性の高い園芸作物の生産拡大を進めているほか、「環境・エネルギー先端県とやま」としてSDGsに貢献した農業を推進することとしている。また、全国一の種もみ出荷県として、県産種子の品質の確保と安定的な生産・流通を図るため、平成31年に「富山県主要農作物種子生産条例」を施行した。

## 農業経営の高度化・複合化と生産基盤づくり

収益性の高い「とやま型農業経営モデル」の実践に向けた普及・啓発を進め、農業経営の多角化や法人化など基盤強化の取組を支援し、意欲ある担い手の育成を図っている。また、農業競争力強化のためのほ場の大区画化や汎用化の整備、ICT・ロボット技術の実証・普及による「とやま型スマート農業」を推進している。

富山市を中心とする地域において、国営農地再編整備事業「水橋地区」が令和3年度に新規事業着手され、ほ場の大区画化などを契機にスマート農業の導入や高収益作物の栽培にも取り組み、儲かる農業のモデル地区を目指す。

## 農林水産物のブランド力向上と販路の開拓・拡大

富山の食の魅力発信による農産物・さかなのブランド力の向上を進め、生産性・付加価値の高い魅力ある農林水産業を展開していくため、「食のとやまブランドマーケティング戦略」のもと、「富富富」（ふふふ）のブランド化の推進や2026年度の農林水産物の輸出額120億円を目標に生産者と海外販路をつなぐプラットフォームの整備を進めることとしている。

国としても、ブランド力の向上と販路開拓・拡大がなされるよう支援していく。



園芸作物の生産拡大(たまねぎ収穫の様子)



ICT技術による水稻水管理



富山市水橋地区圃場にて、ロボットトラクター公開実演の様子

## 「富富富」

富山の水、富山の大地、富山の人が育てたという意味と、ごはんを食べた人が「ふふふ」と微笑み、幸せな気持ちになってもらいたいという想いが込められている。

